

(1)事業の概要等

事業番号	B1702
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	女性活動推進事業					担当部			こども未来部																	
	事業期間	平成10年度	～	令和7年度以降			担当課			多世代交流プラザ																	
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	17	展開方向	2	担当係			男女共同参画係																	
	予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	16	大	2	中	1															
	根拠法令・個別計画	男女共同参画社会基本法・小牧市男女共同参画条例 小牧市女性活躍推進計画 第4次小牧市男女共同参画基本計画					事業種別			一般事業																	
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	<p>あらゆる分野において女性が活躍できるように推進する。</p> <p>○市の各種審議会等に参画できる女性の人材の育成と発掘を行い、幅広い分野の多様な人材を女性人材バンクに登録し、人材の確保に努める。合わせて、女性の社会参画を図るため女性人材バンクの活用を促進する。</p> <p>○地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性リーダーの育成を図る。</p> <p>○ウィメンズネットこまきの活動を支援する。 (ウィメンズネット小牧の活動目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体及びグループ(以下「団体」とします)相互の交流及び情報交換を通じ、個々の団体の活性化を図る。</li> <li>・団体が思想、信条、その他あらゆる立場を越えて結び合うことにより、男女が共に活動する社会を目指す。</li> <li>・行政との協働を通して、男女共同参画社会の実現を目指す</li> </ul>																									
	対象 (何・誰を対象に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市民</li> <li>・活動団体(女性が主導的な役割についているもの及び男女共同参画の趣旨に賛同し活動している団体(営利目的の団体を除く))</li> </ul>																									
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>○各課の審議会等委員選任時に女性委員の積極的な登用について呼びかけるとともに、女性人材バンクの活用を促した。</p> <p>○「ウィメンズネットこまき」への加入負担の軽減のため、運営主体を加入団体からの役員選出による世話人制から、加入団体の有志による事務局制を導入することとした。</p> <p>○昨年度は「ウィメンズネットこまき」の活動20周年記念事業を委託し、発表とグループ企画研修会等を実施した。</p> <p>○まなび創造館女性センターの講座の託児を託児の会「しゃぼんだま」に委託した。</p> <p>○女性人材バンクの登録者が高齢化しており、若い方の登録者確保が必要である。令和4年度は、ウィメンズネットこまきの加入団体等に登録を呼びかけ、新たな人材を確保した。</p> <p>◆令和4年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr><td>費用弁償</td><td>116千円</td></tr> <tr><td>普通旅費</td><td>17千円</td></tr> <tr><td>特別旅費</td><td>59千円</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>140千円</td></tr> <tr><td>女性活動推進事業委託料</td><td>1,100千円</td></tr> <tr><td>女性センター託児事業委託料</td><td>800千円</td></tr> <tr><td>まなび創造館用備品購入費</td><td>40千円</td></tr> <tr><td>小牧市女性の会補助金</td><td>950千円</td></tr> </table>											費用弁償	116千円	普通旅費	17千円	特別旅費	59千円	消耗品費	140千円	女性活動推進事業委託料	1,100千円	女性センター託児事業委託料	800千円	まなび創造館用備品購入費	40千円	小牧市女性の会補助金
費用弁償	116千円																										
普通旅費	17千円																										
特別旅費	59千円																										
消耗品費	140千円																										
女性活動推進事業委託料	1,100千円																										
女性センター託児事業委託料	800千円																										
まなび創造館用備品購入費	40千円																										
小牧市女性の会補助金	950千円																										
受益者負担	無																										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
			直接経費	財源	千円	2,764	2,072
	一般財源	千円					
	国・県支出金	千円					
	その他	千円					
	計(A)	千円	2,764	2,072	1,783	2,347	
	対前年比	%	—	74.9%	86.0%	131.6%	
	予算額	千円	2,961	3,154	2,822	3,222	2,822
人件費	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	正規職員(平均賃金)	千円	749	749	749	749	
	その他職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00	
	その他職員(時給×時間)	千円	370	370	370	370	
	計(B)	千円	1,119	1,119	1,119	1,119	
事業費合計(C=A+B)		千円	3,883	3,191	2,902	3,466	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	17	展開方向			2
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	審議会などへの女性委員の登用率	%	↗	28.0	26.4	25.8	26.8	
2								
3								

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
成果指標	ウイメンズネットこまきの加入団体数	件	目標	14	15	15	15	15
			実績	12	11	11	11	
	審議会等附属機関への女性登用率	%	目標	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
			実績	27.3	26.4	25.8	26.8	
活動指標	女性人材バンクの新規登録者数	人	目標	5	5	5	5	5
			実績	3	5	5	3	
	託児の会しゃぼんだまの託児時間	時間	目標	—	—	—	—	—
			実績	635.5	108.0	76.5	80.0	
単 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—	

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
事業の達成状況と課題	<p>【女性活動推進事業】</p> <p>令和4年度は、ウイメンズネットこまき創立20周年記念事業としてイベントを開催し、例年以上に活発な活動をすることができた。しかし、コロナ禍で活動を休止する団体もあり、ウイメンズネットこまきの加入団体数は減少傾向である。今後、活動を再開する団体や市民会館の一時休館に伴い、まなび創造館を利用する団体に対して加入促進を行うなど、加入団体数を増やす取り組みを継続して実施する。また、例年、男女共同参画の実現に向けた具体的な実践例や活動内容を学ぶ機会として、埼玉県で開催される「男女共同参画推進フォーラム」にウイメンズネット会員と市職員が参加しているが、近年、コロナの影響で開催されておらず、参加できていない。</p> <p>【女性センター託児事業】</p> <p>子育て中の父母が講座に参加できるよう、託児ありの講座を開催しているが、コロナの影響により、市が主催する男女共同参画の講座が通常どおりに開催できない状態が続き、託児の会しゃぼんだまの活動が停滞してしまった。令和4年度は前年度に比べ、講座の開催数が増えたことによって、託児時間も若干増やすことができた。</p> <p>子育て中の父母に市の講座に参加してもらうようにするためには託児が必要であり、今後も託児の会しゃぼんだまに対して継続的な活動支援が必要である。</p>	
	<p>【女性活動推進事業】</p> <p>令和4年度に実施した創立20周年記念事業を節目の事業とし、今後のウイメンズネットの活動について、見直しをしていく予定である。今年度から新しい運営主体となり、市がサポートしていく中で今後の事業の実施方法や予算規模について、将来の事業費の縮減となるように検討してもらう。</p> <p>今年度は「男女共同参画推進フォーラム」にウイメンズネット2名と市職員1名の現地参加を予定している。今後はオンラインによる参加も可能になることが想定されるため、オンライン参加について検討をすすめる。</p> <p>【女性センター託児事業】</p> <p>今後は通常の託児ありの講座開催に加え、他課が主催する講座についても、まなび創造館で開催する講座であれば、託児の会しゃぼんだまに託児をお願いできるように調整し、託児の機会を増やすことで、活動支援を行っていく。</p>	
事業の評価		
事務事業評価による額	千円 節	細節 細々節